

報道関係各位

2025年4月21日

** ホームページでも確認できます **



水稻育苗が本格化 良質米の安定生産へ

■日時 5月中旬まで8時30分～17時

■場所：岡山県勝央町植月中 858-4
勝央育苗センター

※事前に取材申し込みをお願いします

今シーズンの田植えに合わせ、JA晴れの国岡山の共同育苗施設では種まきや苗配りなどの作業が本格化しています。計22箇所の施設で約69万枚（約3,450ha分）の育苗を担い、農家組合員に供給することで作業負担の軽減を実現し、良質米の安定生産を支えます。このうち、勝央育苗センターでは4月中旬から5月中旬にピークを迎え、高温耐性品種として作付拡大が進む「にじのきらめき」をはじめ、「あきたこまち」「コシヒカリ」「きぬむすめ」など約11万枚の育苗を手掛けます。県北の早いところでは4月下旬から田植えが始まり、順次、県南部に移っていきます。



連日のように米価上昇に関する報道が相次いでいますが、肥料・燃料などの資材の値上がり、鳥獣被害、猛暑への対策など、米作りにかかるコストも増加しているのが実態です。また、農家の減少と高齢化によって、水田を維持する労力も大きな負担となっています。JAでは、未来に「食」の安心をつなげていくため、お米をはじめとする、私たちの国で消費する食べものは、できるだけこの国で生産する「国消国産」を進め、「食料安全保障の確保」「適正な価格形成」に向けた県民理解の

醸成と行動変容を促す情報発信に取り組んでいます。

【参考資料】「今なぜ上がる？お米の価格」

以上、お忙しいとは思いますが、取材していただければ幸いです。

下記取材申し入れ先まで事前にご連絡をお願いいたします。

【発信元・取材申し入れ先】

JA 晴れの国岡山 総務部企画課
〒713-8113 岡山県倉敷市玉島八島 1510-1
広報担当携帯（江森）：080-2921-7290
TEL：086-476-1830 FAX：086-476-1840
Email：hareoka_kouhou@hr.oy-ja.or.jp

【お問合せ先】

JA 晴れの国岡山 勝央アグリセンター
〒709-4335 勝田郡勝央町植月中 858-4
TEL：0868-38-3134
広報担当携帯（江森）：080-2921-7290

ホームページはこちら→

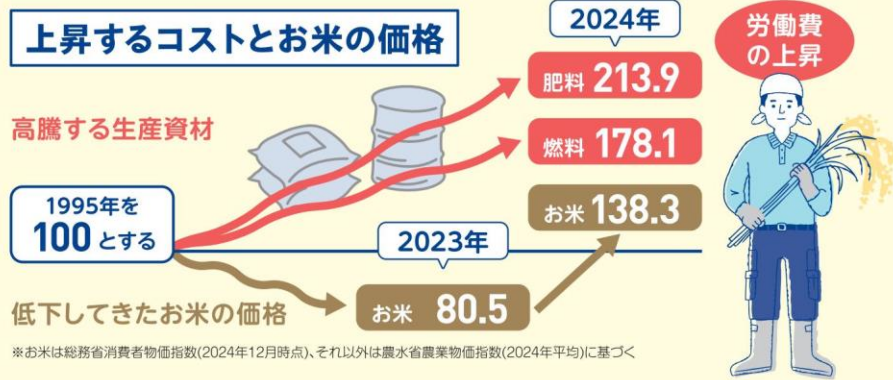




今なぜ上がる? お米の価格

お米を作るための様々なコストの上昇を反映して、お米の価格が上がっています。

図のように、肥料・燃料など、お米の生産に必要な資材が、軒並み大きく値上がりしているのです。一方、お米の価格は、2023年までは低下傾向が続いていたことも分かります。様々な物価の上昇にともない、農家の労働費(賃金に相当)も上昇しています。



専門家による
ワンポイント
解説

水田の維持や、鳥獣被害、猛暑への対策など、農業にかかるコストも増えています。

農家の減少と高齢化で、水田の水路や畔(あぜ)の維持・管理や、鳥獣害対策などの負担が増えています。さらに、温暖化で雑草やカメムシなどの害虫が増えやすく、一層の対策が必要です。しかも、暑い日が増えて炎天下の作業時間が増えており、農業特有の負担は増すばかりです。効率化やコスト削減も図られていますが、今後も生産コストは増えていくと考えられます。様々な物価が上がる中で、「お米だけは、いつも安く買って当たり前」という時代ではなくなった、と言えるのではないでしょうか。



農作業に適した時間はわずか

しかも、害虫や雑草への対策にかかる負担が増大



農業経済学者

おがわ まさゆき

小川 真如先生



JAグループの
取り組み

コスト低減と効率化へ

写真のような建物を見たことはありますか？これはJAが運営する「ントリーエレベーター」という施設です。収穫したお米を、共同で乾燥・選別することで省力化とコスト低減を図り、農家の負担軽減を実現しています。



耕そう、大地と地域のみらい。 JAグループ